

< 参 考 >

交通量調査結果の活用方法

交通安全対策の検討に！

◆ 子供の通学路が心配だな…

→ 調査結果から、周辺の交通量や大型車両の混入率などを把握することができます。通学路は学校や地域で決められていますが、通学路見直しの参考資料として活用できます。



店舗・企業の進出にあたっての参考資料に！

◆ 交通量の多いところに、店舗や事務所を計画したいな…

→ 調査結果から、交通量の多い道路を把握することができます。これをもとに、お店の出店計画等に役立てることができます。

安全な作業時間の確保に！

◆ 路肩に一時的に車を停めて、安全に荷物の搬入や作業をしたいな…

→ 調査結果では、1時間ごとの交通量が示されています。最も交通量の少ない時間帯を調べて、作業を行うようにしてみても良いでしょう。

通勤や運送ルートへの検討に！

◆ 通勤や運送ルートの交通量は…？

→ 周辺道路の交通量を比較することにより、通勤ルート等の検討に役立ちます。

また、通勤時間や運送時刻をずらし、交通が集中する時間を避けることで、渋滞の緩和への貢献や地球環境にやさしい取組につながります。



警察や役所などへの提出資料に！

◆ イベントの実施や交通規制にあたり、警察や役所から資料を求められた…

→ イベントや工事などの交通規制を行う際の影響を確認するため、警察や役所から参考資料を求められることがあります。こうしたときも、調査結果は提出資料として役立ちます。



避難計画の基礎資料に！

◆ 大地震が発生したときの道路状況は？ 避難ルートはどうしよう？

→ 昼間、大地震が発生したとき、どの道路に、何台位の車が通行しているか想定ができます。これにより、災害発生時の道路状況の想定や、避難ルートを検討するなど、身近な防災計画に役立てることができます。

※このほかにも、行政が作成する様々な計画や事業等の資料として活用されます。